

♪お知らせや学校だよりのカラー版、行事予定等を学校ホームページで掲載しています。ご覧ください

高く 広く 強く 豊かに



2025（令和7）年9月19日

伊賀市立阿山中学校

No.8 伊賀市千貝 10番地

<http://www.iga.ed.jp/ayama-j/>

# 学校だより



## ～全国学力・学習状況調査

## 結果報告



この調査は、毎年全国の小学6年生と中学3年生を対象に4月に実施しています。生徒の学力学習状況を把握し、授業や生活の改善に役立てることを目的として、生活習慣や学習環境に関する質問紙調査も実施しています。文部科学省から公表された調査結果に基づき、本校の状況と課題をお伝えします。

### 1. 教科に関する調査結果について

中学校では、国語・数学の2教科を毎年実施し、理科・英語を3年に1度程度で実施します。今年度の教科に関する調査は、国語と数学、そして理科の3教科を実施しました。

#### <今年度の結果>

国語	数学	理科
全国と比べて下回っている (全国比 - 5ポイント以上)	全国と比べて下回っている (全国比 - 5ポイント以上)	全国と比べて下回っている (全国平均スコア以下)

#### <国語>

問題の内容を読み取ることや、選択肢の中から問題に対する解答を選ぶことはできている一方で、読み取った内容や得た情報を「自分の言葉でまとめる力」が弱いという結果になりました。

さらに、内容を要約したりまとめたりして「自分の言葉で表現する」問題が圧倒的に弱く、課題となっています。教科書の内容理解とともに、教科書以外の文章にも触れる機会を増やし、自分の考



えや感想を文章で表現するための語彙力を高めることが必要です。文章の内容について自分の言葉で説明をする活動を取り入れていきます。また、「書く」ことに苦手意識を持っている生徒が多く、無回答率の高い問題が少なくありませんでした。日常的にさまざまな題材で長短問わず

文章を書かせる機会を増やし、書く練習をしていきます。また、説明文でも文章の構成や物語の表現など、文章をじっくり読み、言葉に注目することを意識させていきます

#### <数学>

関数の領域では県の正答率とほとんど変わらない値であります。特に、グラフから必要な情報を読み取る問題に関しては、県より高くなっています。また、データの活用の領域では県の正答率に対して若干低くなっていますが、相対度数に関する問題では県に対して約10%高くなっています。

ただ、数と式領域では、すべての問題において、県よりも正答率が低く、特に文字を使って説明する問題においては、約20%低くなっています



います。また、図形の領域でも県の正答率に対しても約10%低くなっています。数と式領域が弱いことから、抽象的な概念の扱いが苦手だということが分かりますので、以前の学習内容も復習しながら学習を進めていきます。また、2学期に学習する相似や円の単元でも、証明問題を学習するうえで再度、証明の仕方や考え方などの復習も入れながら指導していきたいと考えています。

## 理科

### <理科>

長文で書かれた問題の実験方法からは、実験の本質が理解できていない生徒が多い結果でした。そのため、実験の際には、その実験の目的や、結果を適切に説明できるかなど、一つひとつを確認しながら進めていく必要があります。

理科としても、まずは読み取る力を身につけていく。また、ふだんから記述式の問題に慣れるよう、授業の中でも演習問題として組み込んでいきます。さらには、元素記号など、短答式の問題で点数を落とすことのないよう、問題集やプリント等を繰り返し活用することを徹底し、知識の定着をはかっていきます。

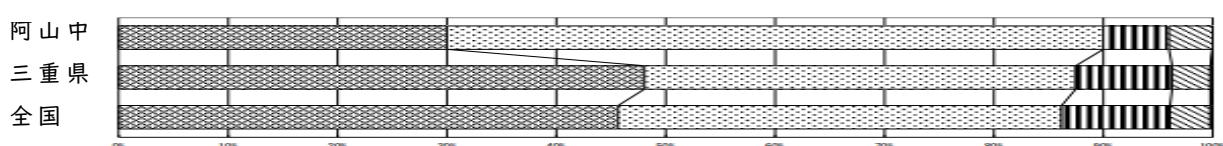
## 2. 生徒質問紙調査結果について

「生徒質問紙」は、アンケート形式で生徒一人ひとりが自分のことについて振り返りました。紙面の関係上一部になりますが、全国との比較から本校の特徴をお知らせします。グラフについては、阿山中生の強みと考えられる項目の文頭に「○」、課題と考えられる項目の文頭に「●」を表示しました。

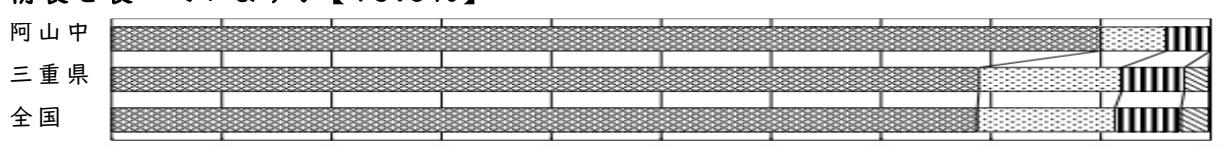
※個々の質問に対してグラフ左側から「1. 当てはまる 2. どちらかといえば当てはまる 3. どちらかといえば当てはまらない 4. 当てはまらない 5. その他 6. 無回答」の割合になっています。また、項目の【】内は、「1」または「2」と回答している割合を示しています。

### 【本校の強み】

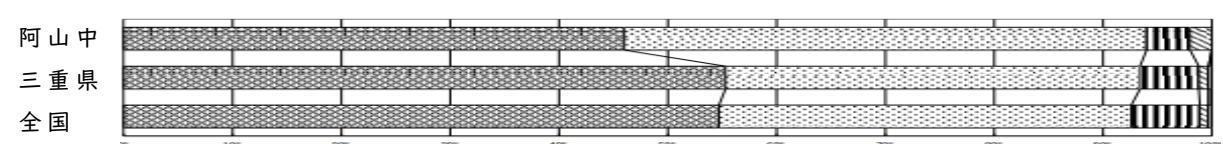
○学校に行くのは楽しいと思いますか【90.0%】



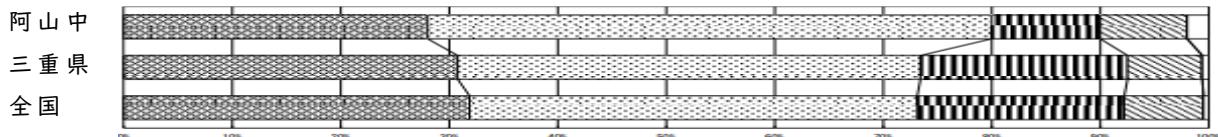
○毎日朝食を食べていますか【96.0%】



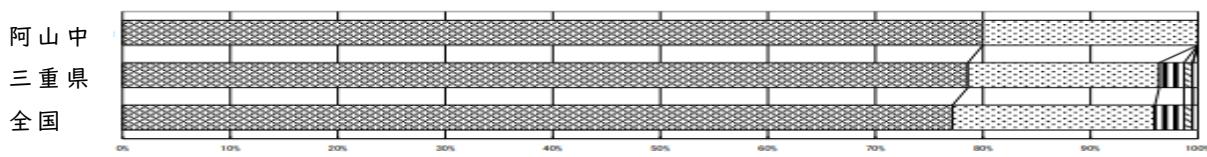
○毎日、同じくらいの時刻に起きていますか【94.0%】



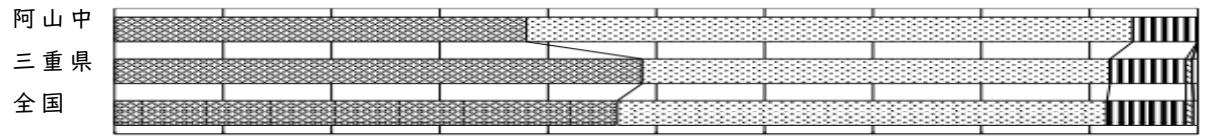
○困りごとや不安があるとき、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか【80.0%】



○いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。【100.0%】



○普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはよくありますか。【94.0%】



とりあげた項目以外では、国語・数学・理科などの教科に関する質問で、「授業で学習したこと」は、将来社会に出たときに役に立つと思う」「問題の解き方が分からぬときは、あきらめずにいろいろな方法を考える」という項目で全国を上回る回答がありました。

今後もさらに生徒が興味や関心を持って「もっと学びたい」と思える内容や授業改善を進めています。

### 【課題】

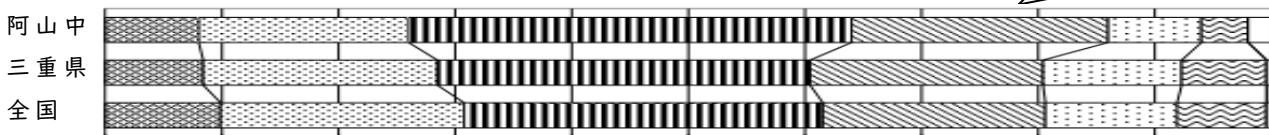
今年度の大きな課題と考えられるのは、昨年同様、家庭学習の時間の少なさです。「学習することの大切さ」は、充分分かっているけれど、「学力を定着させるための努力はできていない」人が多いということがこの結果から分かります。学校生活では、意欲的に取り組めるようになってきているだけに大変もったいない状況です。

### ●平日の家庭学習時間(塾やインターネット学習含む)

【①3時間以上:8.0%】【②2~3時間:18.0%】【③1~2時間:38%】

【④30分~1時間:22.0%】【⑤30分以内8.0%】【⑥全くしない:4.0%】

\*2極化が見られます。  
2時間以上の人気が26.0%に対し、1時間以内といふ人も34.0%います。



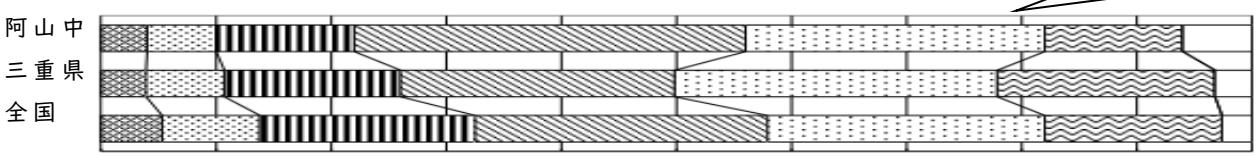
本校のマニフェスト目標は、「家庭学習平日90分以上、休日3時間以上」ですが、3年生の目標は、平日2時間以上、休日4時間以上です。今日から、今ここから改善していきたいと思います。

### ●休日の家庭学習時間(塾やインターネット学習含む)

【①4時間以上:4.0%】【②3~4時間:6.0%】【③2~3時間:12.0%】

【④1~2時間:34.0%】【⑤1時間以内26.0%】【⑥全くしない:12.0%】

\*2時間以上の回答が、全国・県では25%以上のところ、阿山中は22%です。

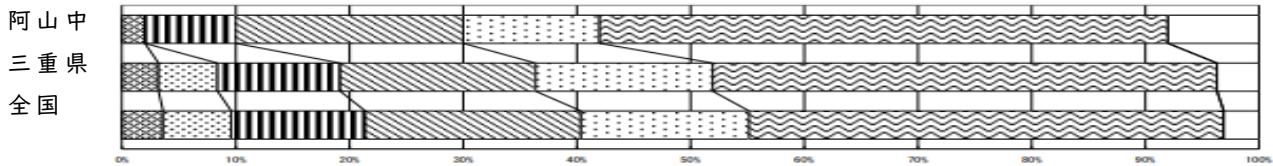


● 平日の家庭読書時間(電子書籍含む。教科書、参考書、漫画、雑誌は除く)

【①2時間以上:2.0%】【②1~2時間:0.0%】【③30分~1時間:8.0%】

【④10分~30分:20.0%】【⑤12分以内8.0%】【⑥全くしない:50.0%】

\*30分以上の回答が、全国・県では35%以上  
のところ阿山中は30%となっています。



他にも「自分で学び方を考え、工夫することができる」など自分から進んで何かをしようとする項目も全国と比較すると低い結果となりました。

学校では、具体的な将来像をイメージできるような学習活動を進めるとともに教育相談等でもキャリア教育の視点を持って将来の夢や目標と一緒に考えていきます。

## 読書の秋!



### <読書の効果>

#### ① 教養や知識が身に付く!

これまで知らないことを知るきっかけになります。新しい知識や教養が身に付くため、世界が広がります。読書でインプットした知識は思考の材料になり、必ず自分を豊かにしてくれます。

#### ② 語彙力、文章力が養われる!

本を読むとたくさんの言葉が出てきます。知っている言葉はもちろん知らない言葉も出てくるので、必要に応じて調べることもあると思います。すると、自然とたくさんの言葉が身に付くはずです。

#### ③ 想像力が豊かになる!

読書は、筆者がどのような意図で書いたか、物語なら登場人物はどのような気持ちだったのか、といった点を考えながら読むと思います。明らかになっていないことを想像するということは、他人に共感したり相手の気持ちになって考えたりする「精神的な成長」にも役立ちます。

#### ④ コミュニケーション能力が高まる!

会話のキャッチボールをうまく行うには、自分の「感じていることや考えていること」をぴったりの言葉で表現する能力が欠かせません。会話の引き出しが増えることも、スムーズなコミュニケーションにつながるはずです。

#### ⑤ ストレス解消になる!

ストレスを減らし「リラックスしやすい状態」をつくれるというのも、読書効果のひとつです。実際に、読書によって、イライラした気持ちがおさまり前向きな気持ちになったりした経験がある人もいるのではないでしょうか。非日常を読書で疑似体験することですっきりした、といふのもそういうことです。